

【目次】

チェックシート	8
第1課 自己紹介で好印象をあたえよう	9
第2課 きっかけを語ろう	17
第3課 なくした体験を話そう	25
第4課 町の様子を話そう	33
第5課 動きの順序を説明しよう	41
第6課 スポーツのおもしろさを伝えよう	49
第7課 言いかえて説明しよう	57
第8課 比べて良さを伝えよう	63
第9課 ストーリーを話そう	71
第10課 最近の出来事を話そう	79
第11課 健康について話そう	87
第12課 将来の夢を語ろう	97
巻末資料	105



## はじめに

あなたは、今、興味のあることについて詳しく説明できますか。そして、話をした相手に、あなたと同じように興味を持ってもらえますか。また、日本人や日本語を勉強している人と話をしていて、楽しく会話を続けられますか。

本書は、これらの質問に「はい」と答えられるようになるために作られた教科書です。生活に関係ある身近で簡単なことは説明できるけれども、複雑なことが説明できなかったり、興味のあることについて詳しく話せなかったりして、本当にわかってもらいたいことを伝えられなかったことがある方には、ぜひ、勉強してもらいたいと思います。

それに、日本人の友だちもできたけれど、どうも楽しく会話が続かないという人にも、コミュニケーションが単に情報を伝えるだけではないことを理解してもらいたいと思います。そして、自分のいろいろな気持ちや本当に伝えたいことをわかってもらうような話し方、話し相手の本当の気持ちを理解するような聞き方を学び、お互いによりよく知り合うためのヒントを得てほしいと願っています。

このテキストを通して、一人でも多くの方が、楽しく会話をすることができるようになることを祈っています。

2005年5月

著者一同

## このテキストを使って指導する方へ

### 1. 本書の理念

#### ①会話指導の目標を具体的に提示

目標とする学習項目や語彙などが比較的明確な初級の指導と異なり、中・上級話者への会話指導は目標がわかりにくいと言われます。そこで、本書では、中級話者が上級話者になるために何が必要かを具体的に示し、学習者にも、指導者にも、各課の到達目標がすぐわかるようにしました。

#### ②上級話者に必要な能力を明示

上級話者になるために必要な能力については、ACTFL-OPI（全米外国語教育協会、口頭能力インタビュー試験）の言語運用能力基準を参考にしています。上級話者として、どのようなことができなくてはならないかを各課の機能上の目標としました。具体的な機能上の目標は、個人的、一般的な興味に関する話題についての詳細な説明、描写、叙述などができるようになることです。

#### ③中級話者に欠けている能力の明示と意識化

また、私たちの長年の会話分析研究の結果から、中級話者が上級話者になるために足りない点がいくつか明らかになっています。それは、(1)ある話題について話すとき、どのような内容について話すことが期待されているかがわかっていないこと、(2)まとまりなく思いつくままに話しているために何を言いたいかわかりにくいこと、(3)話題に応じた語彙や表現が使えないことなどです。さらに文法的な問題点として、初級で学んだはずの自動詞と他動詞の使い分けが十分にできていないことなどがあります。


本書では各課の話題に応じて、こうした克服すべき点を明示しました。話すべき内容とその構成を意識しながら、語彙・表現を豊かにし、自然に無理なく上級話者としての能力がつけられるよう工夫しています。

#### ④話し上手・聞き上手になるための気づきと内省

さらに、本書では、情報を伝えるという働きとは異なるコミュニケーションの側面にも注目しています。それは、人間関係を育て、維持していくことです。どんなに詳しく上手に話せたとしても、あまりあの人と話したくないと思われるような話し手では困ります。もっと話したい、もっとその人のことを知りたいと思われるような話し手になることを目指しています。そのために、よい話し手とは何かを、聞き手として考えてもらうための活動を盛り込んでいます。

## 2. シラバスと目標

本書は、機能・話題シラバスで構成されており、各課に次の3つの目標があります。

- ①コミュニケーションの機能上の目標：詳しい描写、複雑なことの説明、出来事の説明など。
- ②ストラテジー・談話構成・文法上の目標：個人的なことについての失礼にならない尋ね方や話題に適した話し方、順序を示すことばの使用など。
- ③  コミュニケーションの人間関係上の目標：個人的な話題への配慮や異なる考え方や感じ方を認め合う姿勢など、心理学やコミュニケーション論などの考え方を盛り込んだ目標で、聞き手としての役割を意識させて、よい話し手・聞き手になることを目指すためのもの。

※これらの3つの目標については、各課終了後、チェックシート（p.8）で意識化することができます。

## 3. 本書の構成

### ①本冊

本書では、各課が大体次のような構成で組み立てられています。

● さあ 始めよう！

● 何をどんな順序で

Step.1

● どんなことばで ①

● やってみよう ①

● 話すところ・聴くところ ● 

Step.2

● どんなことばで ②





● やってみよう ②

\*【話すところ・聴くところ】は「やってみよう」1か2の後に入っています。

\*「やってみよう3」のある課もあります。

- さあ 始めよう！：各課の話題についていくつかの質問に答えたり、これまでの経験を思い起こしたりすることで、話題に関心を持つ。
- 何をどんな順序で：その話題について話す場合に、一般的によく話される内容とその談話構成を明示することにより、話す内容と順序についての意識化を図る。特に、談話構成については、学習者が構成を意識することにより、長く詳しい話ができるようになり、またわかりやすくなる。

**Step.1** **Step.2** : 二つのステップで、話す内容を少しずつ充実させたり、別の角度から話し方をより洗練させたり、話し方の形態を変えたりしてさまざまな場面に対応ができるようになる。各Stepは、次のコーナーにより構成されている。

- **どんなことばで**：「やってみよう」の活動に必要な語彙や表現について問題形式で勉強する。
- **やってみよう**：学んだ構成、語彙・表現を使って各課の話題について実際に話してみる。
- **話すところ・聴くところ**  ：「やってみよう」で話したときの気持ちなどを振り返ることで、楽しく気持ちよいコミュニケーションをするには、どんな話し手（）・聞き手（）がいいのかについて考える。

次のようなページやコーナーもあります。

[あなたのことばメモ]：自分が実際に話すときに必要なことばを調べてメモするコーナー。  
 チェックシート：各課の終了後、それぞれの3つの目標について自分自身でうまく話せるようになったか、意識できるようになったかをチェックするページ。

巻末資料：[自動詞と他動詞のリスト]、[接続の表現 まとめ]

#### ②別冊

別冊1：活動資料集

- **資料**：その課の活動で使用する絵カードやワークシートなど。
- **もっと楽しもう**：時間に余裕のあるときは、発展的に行える活動を紹介している。

別冊2：解答例

- **どんなことばで**、● **やってみよう**などの解答例や発話例。

## 4. 本書を使った指導に関する基本情報

- ① **対象者・レベル**：中級後半以上の学生、社会人
- ② **所要時間**：1課ごとに完結で、約90分の授業を想定
- ③ **クラスサイズ**：20人程度まで
- ④ **テキスト・活動のタイプ**：教室活動の中で、学習者自身が必要なことばを書き込んで、自分のための会話テキストに仕上げていくことができます。また、すぐ教室で授業ができるテキスト構成になっており、ペア・ワーク、グループ・ワーク、発表など活動スタイルがさまざまで、楽しく言語活動が行えます。
- ⑤ **文字表記**：読みにくいと思われる漢字にはふりがなをつけました。
- ⑥ **太字表記**：その課の話題を話すときに、よく使われる表現を太字にしました。

## 第 1 課

# 自己紹介で好印象をあたえよう

【目標】

1. 自分を印象づける話し方をする。

2. 場面に合った話し方をする。



3. 相手に自分のことをよく知ってもらおう。

# 「著作権保護コンテンツ」

第1課：自己紹介で好印象をあたえよう

## ● さあ 始めよう！

今までにどんな場面で自己紹介をしましたか。そのときの話題や話し方を思い出してみましょ。う。

### 【場面】

- ・クラスで
- ・アルバイト先で
- ・ゼミの教授に
- ・ホームステイ先で
- ・サークルの仲間に
- ・面接試験で
- ・その他（ ）

### 【話題】

- ・将来の希望
- ・自分の性格
- ・趣味や好きなこと
- ・研究内容や専門分野
- ・自分の能力
- ・その他（ ）

### 【話し方】

- ・改まった感じではないに
- ・楽しくユーモアを交えて
- ・個性的に自分らしさを出して
- ・その他（ ）

## ● 何をどんな順序で

1) 自己紹介では、場面に合わせて印象的な内容を話すことも重要です。次の自己紹介はどんな場面で話していますか。また、印象に残った内容に下線を引きましょう。

- 場面（ ）
- ① 面接試験などのように改まった堅苦しい雰囲気
  - ② 少人数で和やかな親しみやすい雰囲気
  - ③ 講演会などのように不特定多数の人がいる所
  - ④ 一人だけの相手に対して

わたしはアメリカから来たオッジーです。「へえ、アメリカのオッジーさんですか」って、よく笑われるんです。どうしてみんなが笑うのかよくわからなかったんですが、年を取った男の人のことを日本語で「お・じ・い・さん」って言うからだってやっとわかりました。

でも、わたしはまだ20歳の若者です。あと50年ぐらいしたら、ちょうどいい名前になると思います。そのころにまた会えるといいですね。どうぞよろしく。

# 「著作権保護コンテンツ」

自己紹介で好印象をあたえよう：第1課

- 2) クラスで自己紹介するとき、あなたが話したい話題を下の表の①～⑭から選び、話したい順序を表に書きましょう。また、印象的な自己紹介にするためにどのように話せばいいか、工夫例を参考にして考えてみましょう。

順序	話題	印象的な話にするための工夫例	あなたの工夫
①	名前	名前の意味や由来、あだ名、同名の有名人	
②	国・出身地	有名な所、有名人、姉妹都市	
③	職業・身分		
④	来日の目的		
⑤	過去の来日経験	失敗談	
⑥	今住んでいる所		
⑦	趣味、余暇の過ごし方		
⑧	家族のこと		
⑨	自分の性格	長所、短所	
⑩	人からよく言われること	意外な面	
⑪	自分のイメージ	動物やアニメの登場人物などにたとえる	
⑫	アピールできる能力 得意なこと		
⑬	困っていること		
⑭	その他		



## Step.1

## ● どんなことばで 1

自己紹介では、自分の性格について話すことがあります。どのように話せば自分らしさが伝えられるか考えてみましょう。

1) 次の自己紹介は自分の悪い面も話していますが、どう思いますか。

僕は、一見冷たそうで暗い人間に見られがちなのですが、実は、とてもひょうきんなところもあるんです。うそだと思うなら、一度、僕と一緒にカラオケに行きませんか。きっと、印象ががらりと変わると思いますよ。

あなたの考えと同じものに○をつけましょう。

- a. 自分の欠点は、ほかの人に言わないほうがいい。  
 b. 欠点は誰にでもあるから、少しくらいは言ってもいい。  
 c. 自分をよく知ってもらうためには、欠点も積極的に言ったほうがいい。  
 d. その他 ( )

2) 次の右と左のことばで、反対のイメージをもっているものを線で結んでください。  
 いいイメージで使われることばには (+)、よくないイメージで使われることばには (-)、どちらにも使われることばには (+-) をつけてあります。

- |              |   |                 |
|--------------|---|-----------------|
| ① (+) さっぱりした | ・ | ・ a (-) 神経質な    |
| ② (+) 活発な    | ・ | ・ b (-) くよくよする  |
| ③ (+) 気さくな   | ・ | ・ c (+-) のんびりした |
| ④ (+) 粘り強い   | ・ | ・ d (+-) おとなしい  |
| ⑤ (+) おおらかな  | ・ | ・ e (-) あきっぱい   |
| ⑥ (-) せっかちな  | ・ | ・ f (-) 気鬱しい    |
| ⑦ (+) すなおな   | ・ | ・ g (-) しつこい    |
| ⑧ (+-) 楽天的な  | ・ | ・ h (-) 強情な     |

3) 次の①～⑧に当てはまることばを下の a～h から選んでください。

- ① 乗り物の中でお年寄りや赤ちゃんを抱いた人に席をゆずってあげる。 ( )
- ② 初めて会った人にも気軽に話しかけられる。 ( )
- ③ 部屋はいつも散らかっていて、身なりにも気を配らない。 ( )
- ④ ほかの人の意見を聞かず、自分の意見ばかり通そうとする。 ( )
- ⑤ つまらないことに、すぐ腹を立てたり、どなったりする。 ( )
- ⑥ 時間に正確で、何でもきちんとするのが好きだ。 ( )
- ⑦ 約束したことや頼まれたことは、忘れずに最後まで必ずやる。 ( )
- ⑧ ゲームで負けたり、悪い点を取ったりすると、とても悔しがる。 ( )

- a. きちようめんな b. だらしない c. 社交的な d. 負けず嫌い  
e. 協調性がない f. 責任感がある g. 怒りっぽい h. 思いやりがある

4) AとBの表現で違うところに下線を引きましょう。人の性格や印象を述べるとき、AとBのどちらを使ったほうがいいと思いますか。その理由も考えましょう。

(A) (B)

- ① わたしは我慢強いです。 ↔ わたしはどちらかと言うと、我慢強いほうです。
- ② わたしは強情です。 ↔ わたしは強情なところ(面)があります。
- ③ 慎重というより実行力に欠けています。 ↔ よく言えば慎重ですが、悪く言えば実行力に欠けています。
- ④ 気難しく見えます。 ↔ 気難しそうな感じがします。

5) 自分で思っている性格とほかの人から言われる性格が違っていることがあります。表に書いて比べてみましょう。

自分で思っている性格	
ほかの人から言われる性格	

● やってみよう ①  

1) 自分を印象づけるような自己紹介をやってみましょう。

友だちの話聞いたあとで、印象的だった内容について伝え合きましょう。

【友だちの名前】

【話題】

【印象的だった内容】

1. ( )  →
2. ( )  →
3. ( )  →
4. ( )  →

【あなたのことばメモ】

2)  自己紹介をして、どのように感じましたか。● 話すところ・聴くところ ●   友だちの話聞いて友だちのことがよくわかりましたか。(はい・いいえ)

「いいえ」の人は、どうして伝わらなかったと思いますか。

(内容が不十分だった・一般的な話だった・話し方がわかりにくかった・内容に興味なかった・その他: )

 自分の話をしてよくわかってもらえたと思いますか。(はい・いいえ)

「いいえ」の人は、どうして伝わらなかったと思いますか。

(自分らしさを伝える話ができなかった・話し方が下手だった・内容に興味を持ってもらえなかった・その他: )

 自分のことをよく知ってもらうためには、ある程度の自己開示(ほかの人の知らない自分について話すこと)が必要です。あなたらしさを上手に伝えましょう。

- 3) 自分のきっかけについて話すときに使えることばを書きましょう。

[あなたのことばメモ]

--

● やってみよう 1 

- 1) 何かを始めるようになったり、だれかと付き合うようになったきっかけを思い出して、話してみましょう。なるべくいろいろ話すことができる話題を選びましょう。  
 \_\_\_\_\_ようになったきっかけ：

① 以前の状況	
② きっかけとなった出来事	
③ 決めたときの気持ち	
④ 今の気持ち	
⑤ その他	

- 2) 聞いている人はメモをとりましょう。

{ _____ } さんの { _____ } きっかけ

- 3)  友だちと話してみて、どう思いましたか。

● 話すところ・聴くところ ● 

-  友だちの物事の決め方について、何か気づいたことがありますか。

(自分の考えを大切に決めてほうだ・感覚的に決めてほうだ・周囲に合わせて決めてほうだ・その他： \_\_\_\_\_ )

-  自分はこれまでどうやって物事を決めてきたと思いますか。

(自分の考えを大切に決めてほうだ・感覚的に決めてほうだ・周囲に合わせて決めてほうだ・その他： \_\_\_\_\_ )

-  物事の決め方にもいろいろありますね。自分と違う決め方をする人のことも理解し、尊重できるといいですね。

## 第 3 課

# なくした体験を話そう

【目標】

1. 詳しく物の描写をする。

2. 気持ちを加えて出来事を話す。



3. 相手の気持ちを考えながら話を聞く。

## Step.1

## ● やってみよう 1



- 1) 下の1～5の文を例のようにつないで話してみましょう。同じことばのくり返しはなくなり、聞きやすくなります。あなたが考えた物について、少し長い文にして説明してみましょう。

- それは文具具です。
- それは鉛筆の先が丸くなったときに使います。
- それは鉛筆をその物の穴の中に入れて使います。
- (電動) その形は四角い箱のような物が多いです。  
(手動) その形は携帯用の小さいものです。
- そのためにナイフを使う人もいます。



例

鉛筆の先が丸くなったときに使う文具具で、その物の穴の中に鉛筆を入れて削ります。電気で動くものは、四角い箱のような形をしています。手動のものは、小さくて携帯できます。それを使わないで、ナイフで削る人もいます。

あなたが考えた物の説明メモ

- 2) 鉛筆削りの例のように、次の物について、少し長い文で説明をしてみましょう。説明を聞いた人は、その物の名前がわかったら、教えてあげましょう。

①



物の名前：

②



物の名前：

③



物の名前：

### ● どんなことばで ①

物の使い方などを説明するとき、いろいろな動詞を使います。そのとき、自動詞・他動詞を正しく使い分けられましたか。動詞の違いに注意して、自動詞と他動詞を使い分けられるようになりましょう。

次の文の（ ）の中から、正しい動詞を選びましょう。

- ① 乾燥機は、その中に洗濯物を（入って・入れて）、ぬれている衣類などを（乾く・乾かす）電気製品です。
- ② 蛇口は、上部にある丸い形の物を左に（回して・回って）、下から水やお湯を（出す・出る）ための物です。
- ③ 消防車は、火事が（起こした・起きた）ときに、火を（消す・消える）ための赤い車です。はしごのついている車もあります。

### ● やってみよう ②



【別冊資料7-1、巻末資料自動詞と他動詞のリスト使用】

4. 5人ずつのグループになって、自動詞・他動詞の絵カードでゲームをしましょう。まず、絵カードをよく切ってから、裏向きにして机に置きます。次に、順番に上から一枚ずつ取って、その動詞を正しく使って文を作ります。正しく言えたら、そのカードはあなたのものになります。間違えたら、そのカードは元に戻しましょう。カードがなくなるまで続けて、カードをたくさん取った人が勝ちです。

自動詞・他動詞でわからないものがあったら、巻末の自動詞と他動詞のリストを見て確認しましょう。

カード1の例：旗が上がる／子どもが手を上げる。

## Step.2

## ● どんなことばで②

- 1) 何かを説明しているとき、言いたいことばが思い出せなかったことはありませんか。  
ことばを探しているときに、使っている表現を思い出して書いてみましょう。

例：あー、えー

- 2) 下のaとbを比べましょう。どちらが聞きやすいと思いますか。  
それはどうしてでしょうか。

- ① a. このバッグは合成ひびびかかわでできているので、とても軽い  
です。  
b. このバッグは合成ひび、何て言いましたっけ、合成ひび、えーと、かわ、合成皮革  
でできているので、とても軽いです。
- ② a. この真珠はタヒチの海でよーしゅく、よー、よーしゅく、よーしゅくされました。  
b. この真珠はタヒチの海で、よーしゅく、ちょっとことばを忘れてしまったんで  
すが、よーしゅく、えーっと、よーしゅくされました。
- ③ a. 文字はローマ字を使っていて、おしゃ・・・(沈黙)  
b. 文字はローマ字を使っていて、おしゃ、何ていうんですか、えーと、おしゃ、  
(おしゃれ?) そうです。おしゃれです。

ことばを探しているときには、同じことばを何度もくり返したり、黙ってしまったたり  
するのではなく、自分が今考えているということを相手に示すことが大切です。そうす  
れば、相手も助けようとしてくれます。



# 日本語上級話者への道

きちんと伝える技術と表現

別冊 1 : 活動資料集

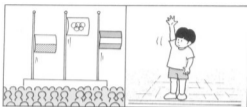
別冊 2 : 解答例

スリーエーネットワーク

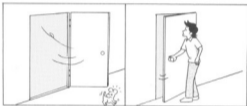
## 第7課

【資料7-1】 ● やってみよう ② 「自動詞と他動詞」

1.



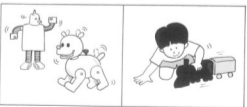
2.



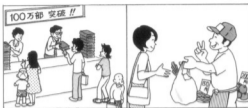
3.



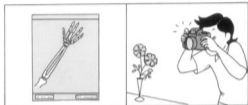
4.



5.



6.



7.



8.



## ～巻末資料～

## 第7課 言いかえて説明しよう —— [自動詞と他動詞のリスト]

間違えた動詞や知らなかった動詞は、○で囲みましょう。

	自動詞	他動詞
1.	上がる	上げる
2.	開く	開ける
3.	集まる	集める
4.	動く	動かす
5.	売れる	売る
6.	写る	写す
7.	起きる	起こす
8.	落ちる	落とす
9.	おりる	おろす
10.	変わる	変える
11.	かかる	かける
12.	かわく	かわかす
13.	決まる	決める
14.	切れる	切る
15.	消える	消す
16.	壊れる	壊す
17.	閉まる	閉める
18.	育つ	育てる
19.	倒れる	倒す
20.	立つ	立てる
21.	つく	つける
22.	続く	続ける

	自動詞	他動詞
23.	つながる	つなぐ
24.	出る	出す
25.	通る	通す
26.	届く	届ける
27.	止まる	止める
28.	流れる	流す
29.	なくなる	なくす
30.	鳴る	鳴らす
31.	並ぶ	並べる
32.	抜ける	抜く
33.	残る	残す
34.	乗る	乗せる
35.	入る	入れる
36.	始まる	始める
37.	冷える	冷やす
38.	曲がる	曲げる
39.	回る	回す
40.	見つかる	見つける
41.	破れる	破る
42.	汚れる	汚す
43.	分かれる	分ける
44.	割れる	割る

※リストの番号は別冊の「自動詞と他動詞」カードの番号に対応しています。

## 第9課 ストーリーを話そう —— [接続の表現 まとめ]

	接続の表現の働き	使い方の注意点	例文
すると	あることに続いて、ほかのことが新しく起こった場合に使える。	後ろの文は過去形。 自分の意志を表す表現は使えない。 状態には使えない。	公園を歩いていた。すると、知らない子が突然近寄ってきた。
それから	前の文で示される状態や場面で、一般的に次に行う動作を述べたり、自然な流れを述べるときに使える。	後ろの文は必ず動詞の文。 形容詞の文は使えない。 自然な流れと考えられる行為である。	ドアのチャイムが鳴った。そこで、玄関に出てみた。
それで①	前の文で示されることが理由で、後ろの文がその結果や、それが理由であったことを示す。	後ろの文では、客観的な状態や事実を説明する。 意志（命令・依頼など）を表す表現は使えない。	日本に来て、全然運動しなくなった。それで、ずいぶん太ってしまった。
それで②	「それからどうしましたか」の意味で、会話中に、相手の話の続きを聞きたいときに使う。	二人以上で話しているときに使う。	A「きのう、野球の大事な試合があったんだ。」 B「それで、どうだったの？」
ところが	予想とは反対のことや全く予想していないことが起きたときに使う。	後ろの文は、事実を述べる文にする。	日本語が上手になれば仕事があると信じていた。ところが、簡単に見つからなかった。
しばらくして	ある行為や出来事から、少し時間が過ぎたあとに、次の行動をしたり、何か変化があったりしたときに使う。	そのままの状態で、時間がたっていることに注意。	チケット売り場で列の最後に並んだ。しばらくして、わたしの番が来た。

## ■ 参考文献

本書は、上級話者に必要な能力や各課の目標について、下記の文献や研究結果などを参考にしました。

- ・ The American Council on the Teaching of Foreign Languages (牧野成一：監修、日本語OPI研究会翻訳プロジェクトチーム：翻訳) 『ACTFL-OPI 試験官養成用マニュアル 1999年改訂版』、アルク(1999)
- ・ 牧野成一・鎌田修・山内博之・齊藤眞理子・萩原雅佳子・伊藤とく美・池崎美代子・中島和子 『ACTFL-OPI入門 ―日本語学習者の「話す力」を客観的に測る』アルク(2001)
- ・ 萩原雅佳子・齊藤眞理子・増田眞佐子・米田由喜代・伊藤とく美 「上・超級日本語学習者における発話分析―発話内容領域との関わりから―」、『世界の日本語教育』第11号、pp83-102、国際交流基金日本語国際センター(2001)
- ・ 萩原雅佳子・米田由喜代・伊藤とく美・齊藤眞理子・増田眞佐子 「日本語学習者の口頭運用能力における発話のまとまり方の諸相」、『日本語OPI10周年記念フォーラム論文集』、pp51-64、日本語OPI研究会(2002)
- ・ 萩原雅佳子・齊藤眞理子・伊藤とく美 「日本語OPIに見られるストラテジーの使用について」、『エディンバラOPIシンポジウム予稿集』、pp41-46、J-OPI Europe・関西OPI研究会・ACTFL(2002)
- ・ 萩原雅佳子・齊藤眞理子・伊藤とく美・増田眞佐子 「上級話者への会話教育の指針―OPIレベル別特徴の分析から、まとまりの欠如に焦点をあてて―」、『The 3<sup>rd</sup> International Symposium on OPI The 12<sup>th</sup> Princeton Japanese Pedagogy Forum Proceedings』、pp92-102、Princeton University(2004)

[資料9-2]

A



朝日新聞 1987年9月14日「フジ三太郎」

サトウサンペイ

B



朝日新聞 1988年10月30日「フジ三太郎」

サトウサンペイ

● もっと楽しもう

あなたの国の昔話を発表しましょう。

似た話が、ほかの国にもありませんでしたか。

似た話があった場合、その話は、同じように理解されていましたか。

## 第 10 課

## ● もっと楽しもう

子どものころの忘れられない話を友だちに話してみましょう。

最近のニュースの中で覆ひらが立ったこと、驚おどいたことを友だちに話してみましょう。

自分の国のニュースで自慢こぼできることを友だちに話してみましょう。

## 第 11 課

## ● もっと楽しもう

「風邪は万病のもと」とよく言われます。風邪の治おとし方や予防よぼう法について、自分の国でよく行われていることを紹介しましょう。

## 日本の場合

わたしの国では、風邪のひき始めに①「たまご酒」を飲みます。②作り方はお酒を温めて、その中に卵を溶きほぐして作ります。これは、③体を温めて汗を出すことやぐっすり眠れることで風邪に効果があります。また④子どものころ、長ねぎを焼いて、布にくるんで首くびに巻まいてもらったことがあります。少し気持ちが悪かったです。

## あなたの国の場合

① 何を	①
② どのようにして	②
③ どうなるか	③
④ それを試して、どうだったか	④



## 別冊 2 : 解答例

## 第 1 課

## ● 何をどんな順序で

- 1) 場面 ( ② )

## ● どんなことばで ①

- 2) ①-g ②-d ③-f ④-e ⑤-a ⑥-c ⑦-h ⑧-b
- 
- 3) ①h ②c ③b ④e ⑤g ⑥a ⑦f ⑧d

## ● どんなことばで ②

- ①c ②a ③d ④g ⑤e ⑥f ⑦b

## 第 2 課

## ● 何をどんな順序で

- 1) Aさん: ①③ Bさん: ①② Cさん: ①③④ Dさん: ①②
- 
- 2) ①g ②b、c、d ③a、e ④f

## ● どんなことばで ①

- 1) ①-b ②-e ③-f (b) ④-g ⑤-d (c) ⑥-c ⑦-a

## ● どんなことばで ②

- 2) 1 兄弟は何人いるか、どこに住んでいるか、何をしているかなどもう少し聞きたい。
- 
- 2 どうしてその仕事をするようになったのか、どんな仕事かなどもう少し教えてほしい。
- 
- 3 どんなことをするのか、始めたきっかけは何か、いつもどこでするのか、飛ぶときどんな気持ちかなどもう少し話してほしい。
- 
- 3) 1 とてもすてきですね。／わあ、きれい。高そうですね。など
- 
- 2 年配の方には：お若いですね。／何年ですか。など
- 
- 同じくらい
- おなじくらい
- の年の人には：わたしと同じくらい
- おなじくらい
- の（お）年ですよ。など
- 
- 若い方には：まだ学生でしょう？／働いていらっしゃるんですか。など
- 
- 3 ご主人・奥様もすてきな方なんでしょうね。／食事はどうしていますか。など
- 
- 4 とてもすてきですね。／すてきな指輪ですね。日本のものですか。など
- 
- 4) 1 ええ、でも子どもは夫の両親が見てくれているから大丈夫です。／子どもは高校生で、自分のことは何でもできるから大丈夫なんです。／大学生の長女が一番上
- いちばんうへ
- にいるので、兄弟3人と夫で協力してやっていますみたいです。など

- 2 そうですね。虫と言っても、主にカブトムシを飼っているんです。／  
蝶を集めているんですが、コレクターはとても多いんですよ。／いろいろな  
種類のものがいて、自然の不思議さを感じるんです。など
- 3 ええ、わたしの方が一目見て気に入ってしまって、電話番号を聞き出したん  
ですよ。／ええ、ちょっと話をしたら、同じ大学を卒業していた・同郷だっ  
たことがわかって、すぐ意気投合したんです。など

### 第3課

#### ●何をどんな順序で

① b, e, h, k, m    ② c, k, m    ③ a, g    ④ l

⑤ f, i    ⑥ d, j

話す順序：① → ② → ③ → ④ → ⑤ → ⑥

#### ●どんなことばで ①

1) ① a    b    c    d

② d    c    a    b

③ a    c    d    b

④ a    d    c    b

2) ① - c    ② - a    ③ - e, a, d    ④ - a, g    ⑤ - d, e

⑥ - h, e    ⑦ - b    ⑧ - f

#### ●どんなことばで ②

Aさん：①（あのう、すみません、財布をなくしてしまったんですが）

Aさん：②（いつかよくわかりませんが）

Aさん：④（クレジットカードと外国人登録証）

警察官：⑥（この書類に必要事項を記入してください）

⑦（クレジット会社に電話して停止するように連絡してください）

Aさん：⑤（はい、とても大切な財布です。どうぞよろしくお願いします）

### 第4課

#### ●何をどんな順序で

【はじめ】①⑦    【中心部】②③④⑤⑥⑨    【まとめ】⑧

#### ●どんなことばで ①

1) 1 - g    2 - c    3 - h, b    4 - a, e, i    5 - j, d

2) 1 - d    2 - a    3 - b    4 - e    5 - c    6 - f

- 3) ①-c ②-e ③-a ④-f ⑤-g ⑥-b ⑦-d

## 第5課

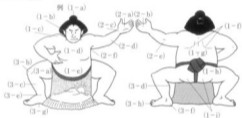
## ● 何をどんな順序で

- 1) ①d ②a ④eまたはb ⑦bまたはe ⑨c

2)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
A. 準備	○									
B. 中心となる動き		○		○		○	○	○	○	
C. 注意すること			○		○					○

## ● どんなことばで ①



## ● やってみよう ①

- 1) 1. ① 浮く ② 沈む ③ 立ち上がる  
 2. ① つかまる ② はい上がる ③ 伸ばす  
 3. ① ちぢめ ② 曲げ ③ 振る  
 4. ② 広げる ③ 浮く ④ 引きよせ  
 5. ① うつぶせになっ ② 起こす ③ 反らし
- 2) 表のタイトル: 1-c 2-a 3-d 4-b 5-e

## ● どんなことばで ②

- 1) ①-h ②-b ③-f ④-c ⑤-g ⑥-e ⑦-d ⑧-a  
 2) ①h ②d ③f ④a ⑤g ⑥b ⑦e ⑧c  
 3) 1. (f) 乗るときに、荷物が落ちないようにしてください。  
 2. (d) バランスを崩さないように気をつけましょう。  
 3. (b) はじめは、ゆっくりこげばうまいきます。  
 (e) はじめは、ゆっくりこぐのがコツです。  
 4. (e) ハンドルをまっすぐしておくのがコツです。

● **どんなことばで** ②

野球：a、b、d サッカー：a、b、c、d 相撲：c、d、e、g  
 フィギュアスケート：e、f バレーボール：a、d、e ゴルフ：d、e など

## 第 7 課

● **やってみよう** ①

- 2) ①それは、洗濯した物やぬれている衣類を乾かすために使う電気製品で、スイッチを入れると温かい風が出てきて、中にある物を乾かします。形は四角い大きな箱のような形をしています。
- ②それは、洗面所などにあるもので、上の方にある丸い物を左に回すと、下から水やお湯が出ます。最近では、いろいろな形の物があって、回さないで、レバーを押したり、上げたりして出す物もあります。
- ③それは、火事が起きたときに、火を消すための赤くて大きな車で、119番に電話して呼びます。その車についているホースから水が出て、その水を使って火を消します。はしごのついている車もあります。

● **どんなことばで** ①

①入れて、乾かす ②回して、出す ③起きた、消す

● **やってみよう** ③

A:

ヘリコプターの場合：それは、空を飛ぶ交通手段の一つで、空から人を見つけたり、きれいな景色を見たりするために使います。その物の上部で、十字のプロペラがぐるぐる回っていて、飛ぶときは、まっすぐ上に上がります。

栓抜きの場合：ビールやコーラなどのビンを開けるときに、使います。この物の穴の中に、ビンの頭の部分を引っ掛けるように入れて、この原理を使って、柄を持ち上げて開けます。

ピアノの場合：それは、とても重くて大きな楽器の一つで、木でできた白と黒の板を指で押さえたり、たたいたりすると、きれいな音が出ます。

ミキサーの場合：それは、飲み物などを作るときに使う台所用品で、そのものの中に、好きな果物や野菜と牛乳や水を入れて、スイッチを押すと、中にある刃が回って、中のものが細かく切れて、おいしい飲み物になります。

B:

目覚まし時計の場合：それは、ベッドのそばに置いておく小さな物で、朝早く起きたいときなどに、使います。裏側にあるスイッチを前の晩にセットしておくと、朝、セットしたとおりにいろいろな音が鳴って、その音を聞いて、ほとんどの人が起きることができます。

じょうろの場合：花などの植物を育てるときに使う園芸用品で、この中に植物を育て